

平成26年度第2回原子力安全対策プロジェクトチーム会議の開催について

平成26年8月21日

原子力安全対策課

島根原子力発電所の安全対策の取組状況等と本年度の原子力防災訓練について、関係者間の認識を共有するため原子力安全対策プロジェクトチーム会議を開催しました。

1 日 時 平成26年7月23日 (水) 午後1時30分～2時20分

2 場 所 災害対策本部室

3 出席者 知事、副知事、各部局長、警察本部、教育委員会、中国電力 等

※米子市、境港市、三朝町、中部・西部総合事務所はテレビ会議で参加。各市町村にも自治体衛星通信で配信。

4 内容等

(1) 島根原子力発電所2号機の状況等 (説明者: 中国電力島根原子力本部)

島根原子力発電所2号機の審査状況等について説明を受け、質疑応答を行うとともに今後の対応等も含め、安全協定に基づく本県回答(H25.12.17)の確実な履行、本県への適時適切な説明・報告等を求めるとともに意見を述べました。

ア 2号機の審査会合に対する意見

- ・審査会合において中国電力として説明責任をはたしていただきたい。
- ・汚染水対策、宍道断層、フィルタベント(シビアアクシデント対策)、津波等について慎重に判断していただきたい。

イ 3号機の取扱いに対する意見

2号機の審査状況を反映させながら審査に望む、という説明があったが、3号機の取扱いには明確な方針を伺っていない。方針決定されるのであれば、きちんとした説明をお願いしたい。

ウ 1号機の取扱いに対する意見

40年規制(原子力発電所の40年運転制限)という基本原則があり、これは重いものである。地元の安全性を第一に考え判断していただきたい。

(2) 平成26年度原子力防災訓練について

避難時間の短縮(4日間→20時間)に伴い、避難の継続的な実効性の確保(避難計画の深化と体制の整備)を目的とし、主要訓練項目として障がい者施設入居者等の避難、わかりやすい住民等への広報等を検証することを確認した。

ア 島根原子力発電所対応…2県6市との共同訓練 10/18(土)

イ 人形崎環境技術センター…岡山県との共同訓練 10月頃

(3) 広域住民避難計画説明会の状況 (説明者: 米子市、境港市)

UPZ内の16地区のうち9地区で開催されたところであり、引き続き、住民説明会をしっかりと行う。(各地区の避難計画説明会の前段に、中国電力が新規制基準の申請概要についての説明会を実施)(説明会での主な意見等)

- ・段階的に避難することになっているが、自主的に早期避難する人がいるのではないか。
- ・住民に対する情報伝達はどのようなされるのか。
- ・要配慮者(高齢者、子ども等)は、優先避難できるようにして欲しい。
- ・島根県からの避難者が弓浜半島を利用することを想定しているか。
- ・西風が多いので、岡山県方面を避難先としてはどうか。